

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所ガタンゴトン		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 5日		2025年 3月 5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2025年 3月 5日		2025年 3月 5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児に対してマンツーマン対応ができるように、利用児と同数以上の職員の配置し、相談しやすい雰囲気をつくることで(療育時だけでなくLINEをでも相談できる様にしている)保護者や利用児のニーズを引き出しやすくし、相談に対してすぐに対応できるようにすることで、安心感をもって通所してもらい信頼してもらえるようにしている。	保護者からのニーズや利用児の特徴を踏まえた療育(利用児に合った自作教材の作成)や環境作りをしている。 毎日、職員間で打ち合わせと反省会を行い意見交換を行うことで情報共有を行い、改善を行ったり共通認識を持つようになっている。	職員間アセスメントツールの導入、共有化に取り組み始めている。 個別療育時と集団療育時で職員との話のしやすさが違う(集団だと話がし辛い)助言のタイミングが適切でないとの指摘があったため、これまで以上に相談しやすい雰囲気作りを行っていく。
2	家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)を行うことで、保護者への情報提供や知識のアップを行っている。	就学支援に力をいれており、元小学校校長による小学校に上がる際の準備など	ペアレントトレーニング時、質問や対話の時間の不足の訴えがあったため、十分な時間の確保を行っていく。
3	スーパーバイザー(大学教授)を招いており、必要に応じて発達検査をとっている。	当事業所で対応が難しいケースは、スーパーバイザーや適切な人から助言をもらったり、利用児の関わりがある所(学校園や他事業所)と連携をとり支援を行っている。 月1回、大学教授と保護者との個別相談会を設けている。	保護者や利用児のニーズをくみ取った上で、足りない部分を補っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	男性スタッフがいないため、同性介助が難しい。	利用児に対する療育時間が少ないため(短時間集中型の療育を行っている)、事業所としての収入が少なくなりがちで、十分な職員の給料を確保が難しく、スタッフの確保(特に男性)が難しい。	男性が働きたいと思えるような事業所作りをしていく。
2	療育スペースの狭さを保護者、職員ともに感じる時がある。	物理的に療育スペースが狭いため、人数や年齢によって狭くなる。	療育内容の工夫やパーテーションにより、個人のスペースを確保するようにし区切りをつけているが、パーテーションの不安定さの指摘があるため、安定感かつ狭さを感じない療育スペース、環境作りが必要である。
3	土曜の療育が隔週実施のため、土曜だけ療育に来る利用者に関して、平日利用児に比べて療育時間が少なくなるため、平日の利用児と同レベルの療育の提供が難しい。	利用児のニーズの考慮が甘く、事業所の開所時に隔週土曜の開所とした。	共働きが増加しており、土曜日利用のニーズが増えているため、土曜日の開所を毎週にすることの検討や、療育時間の少なさをカバーする手法が必要。

公表 保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援事業所カタンゴトン	公表日	2025年 4月 21日
利用児童数	38	回収数	18

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	7	1	0	・親5～6人、子供5人、先生…の時は、さすがに遊び時、狭いな…と思う。子ども大きくなるので。 ・パーティションがゆれたり、狭く感じることが多い。 ・1人1人の遊ぶスペースが確保されています。	・不安を払拭できるように部屋の使い方や道具、療育内容などを工夫していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17	1	0	0	・先生と1対1で手厚く、集団で話を聞く練習もしたかったです。 ・いつもたくさんの職員がいてくれてありがたいです。 ・子ども1人に1人以上の先生の目が行くように配慮してくれています。	・ありがとうございます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	1	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	1	0	0	・小さなおもちゃを入れているケースがほごりだらけの時間がある。	・清掃致しました。今後も定期的に点検及び清掃していきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	2	0	0	・先生方への安心感があります。 ・発語しやすい環境作りを教えてもらったり、とても助かります。 ・都度、悩みを相談し、アドバイスをいただけて、感謝しています。 ・楽しめているとは思いますが、個々を伸ばしているかはわかりません。	・ありがとうございます。個々を伸ばせるように、また伸びていると実感していただけるように努力していきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	1	0	0	・きちんと話合った後に作成されている。 ・いろいろな方向からの学習に取り組んでいただけています。	・ありがとうございます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	0	0	0	・具体的な内容が設定されている。	・ありがとうございます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	1	0	0	・自作教材を使い、毎回違うプログラムを行っており、工夫されていて素晴らしいです。	・ありがとうございます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	0	5	8	・特になくて良い、未就園児が利用者いたら機会を作って欲しい。	・ありがとうございます。希望に添えるように努力していきます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	0	0	2	・ペアレント・トレーニングや言葉・発達について学ぶ会など行ってきてありがたいです。 ・就学に向けての勉強会はありがたいのですが、毎回まったく質問するすきなく一方的に話を聞くだけなので、効果が低いと思います。質問や対話ができる状態がよいと思います。	・ありがとうございます。質疑応答や対話時間が確保できるように致します。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができてきていると思いますか。	16	1	0	1	・個別から集団になって、先生とお話する機会が減りました。 ・いつもお話しする時間があるので、伝え合っていると思います。	・ありがとうございます。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	0	0	0	・絵本の読み聞かせの時、保護者と職員が話している事があり、児童の気が散って集中できない。保護者への助言や相談は、場所とタイミングを選んでほしい。 ・子どもの利用人数が少ない日は、助言などしてくださっている。	・場所とタイミングを考えて話をする様に致します。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	1	0	0	・絵本の読み聞かせの時、保護者と職員が話している事があり、児童の気が散って集中できない。保護者への助言や相談は、場所とタイミングを選んでほしい。 ・できたことはたくさん褒めてくださり、共感的に支援されていると思う。	・場所とタイミングを考えて話をする様に致します。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	1	1	5	・勉強会や相談会を開催してくれて、家族への支援がされている。 ・保護者同士の交流が持てるような雰囲気づくりがされています。	・ありがとうございます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	1	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	1	0	0	・ラインがあるので連絡が取りやすいです。	・ありがとうございます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	2	0	4		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	0	0	2	・マニュアル等整備されていますが、訓練は経験していません。	・訓練は、毎年5月、6月に実施しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	0	0	5		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	0	0	3	・事故がない。	・ありがとうございます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18	0	0	0	・とても楽しみにしており、卒園まで通うことができて良かったです。 ・「ガタンゴトンあしたー？」といつも聞いてきます。楽しみにしています。 ・学習することも、お友だちと会えることも楽しみにしている様子です。	・ありがとうございます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	1	0	0	・大変満足しています。 ・いつも様々なプログラムを考えてくれたり自己肯定感を上げてくださり感謝です。 ・何より、子どもが楽しんでいっていることにとっても満足しています。	・ありがとうございます。

公表	児童発達支援事業所における自己評価結果
----	---------------------

事業所名	児童発達支援事業所ガタンゴトン				公表日	2025年 4月 21日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12	1	・パーティション等でスペースを変え工夫して対応している。 ・衝立を活用してスペースを有効活用している。	時々、せまく感じる時がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	13	0		あと1人配置があればと思う時がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	1		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	12	0	※未回答1	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	日々の打ち合わせ、反省会で意見が出され、改善にむけられている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	4	・改善していこうと取り組みはじめたところだと思う。 ・実地指導(?)等を受け、その都度業務の改善をしている。 ※未回答1	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13	0		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	0	ホームページで公表されている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	12	1	・アセスメントツールの導入、共有化に取り組みはじめたところ。 ・課題が生じた時には、柔軟に適切な対応がとられている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	0	※未回答1	様々な職員の意見を聞ける機会はほしい。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	1	取りくみはじめたところ。 ※未回答1	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	0	※未回答1	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	0	※未回答1	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	0	・子どもの実態に合ったプログラムが工夫されている。 ※未回答1	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	12	0	※未回答1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	0	毎朝、打ち合わせの時間をもたれている。 ※未回答1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	1	話しやすい雰囲気があり、気になることは早めに相談するようにしている。 ※未回答1	翌日以降になることがある。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	0	※未回答1		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	0	※未回答1		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	0	※未回答1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	1	※未回答1	これからもっと充実させていきたい。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	0	※未回答1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	1	※未回答1	すべてに対しては、取り組みができていない。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	/	/	/	/	/
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	1				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)	/	/	/	/	/
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	5	※未回答4		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0	※未回答1		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12	0	※未回答1		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	0	※未回答1			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13	0				
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	13	0				
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	0				

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11	2		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	11	2		ブログの更新ができていない時がある。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	8	※未回答1	
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	0	
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13	0		
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	12	1		
48		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12	0	※未回答1	
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	0	※未回答1	
50		子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	0	※未回答1	
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	0		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	0			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	12	0	※未回答1		